

たかはし がわりゅういき い ものちょう さ 高梁川流域生き物調査2025

スマートフォンやタブレットを使って誰でも参加できます！



れい わ ねん ど ちょうさ たいし ょう がいらい しょくぶつ に ほん しょくぶつ
令和7年度の調査対象は外来の植物と日本の植物です

きれいな花は、外国からの侵略者かも？
いえ まわ あ ち がいらい しょくぶつ に ほん しょくぶつ たたか
家の周りの空き地で外来の植物と日本の植物が戦っている？
わたし たかはしがわりゅういき み ぢか しょくぶつ しら
私たちの高梁川流域で身近な植物をみんなで調べて
みませんか

さん か たいし ょう しょうがくせい おとな しょうがくせい おとな いっしょ ちょうさ
● 参加対象：小学生～大人（小学生は大人と一緒に調査してね!）

ちょうさ き かん ねん がつ ついたち にち がつ にち きん
● 調査期間：2025年6月1日（日）～10月31日（金）

ちょうさ たいし ょう がいらい しょくぶつ に ほん しょくぶつ
● 調査対象：外来の植物と日本の植物

たいし ょう ち いき たかはしがわりゅういき し ちょう あさくち し い ばら し かさおか し くらしき し そうじゃ し たかはし し
● 対象地域：高梁川流域7市3町（浅口市、井原市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、
新見市、里庄町、早島町、矢掛町）

ちょう さ し かた 調査の仕方

いえ ちか たいし ょう しょくぶつ み しゅるい ほうこく
①家の近くなどで対象の植物を見つけたら、種類を報告してください

ほうこく けつ か ち すじょう すい じ しゅう かいてい ど よてい くらしき し
②報告いただいた結果は、地図上にプロットし、随時（週1回程度の予定）倉敷市のホーム
ページで公表します

といあわ さき くらしき し かんきょうきょく かんきょうせいさくぶ かんきょうせいさくか
問合せ先：倉敷市 環境局 環境政策部 環境政策課

TEL:086-426-3391 FAX:086-426-6050

メール :eptc-np@city.kurashiki.okayama.jp



▲ホームページ

たかはし がわりゅういき い ものちょう さ 高梁川流域生き物調査2025

調査票

- 調査期間：2025年6月1日（日）～10月31日（金）
- 調査対象：外来の植物と日本の植物
- 対象地域：高梁川流域市町（7市3町）
- 参加対象：小学生～大人（小学生は大人と一緒に調査してね!）

①調査した場所と環境

浅口市・井原市・笠岡市・倉敷市・総社市・高梁市・新見市・里庄町・早島町・矢掛町

■【住所】『 』

又は

■【施設名（学校・公園など）】『 』

■【どんな場所に】 市街地（学校、公園、道路、自宅の庭など）・河川や池・田畑・樹林

■【調査結果】 オオキンケイギク・ナガエツルノゲイトウ・セイタカアワダチソウ・ススキ
その他（ ）気になる植物を報告してください

②調査者の情報

■ ニックネーム（※1） （※1）ニックネームはHPで公表します。

■ 年代 小学生・中学生・高校生 または、（10代未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代以上）

参考（問い合わせ用です。未記入でも可。）

■ お名前

■ ご住所

■ メールアドレス

■ 電話番号

※お名前、ご住所、メールアドレス、電話番号は問い合わせ用です。公表しません。

★種類がわからない場合は、写真など送ってください。名前を調べるお手伝いをします。

○調査票が足りない場合には、コピーして使用してください。倉敷市HPでも調査票をダウンロードできます。

【報告先】倉敷市 環境局 環境政策部 環境政策課

● インターネットで報告する場合 → QRコード又はホームページ（URL：
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kurashi/kankyo/1003374/1003375/index.html>）
から電子申請による

● e-mail で報告する場合 → eptc-np@city.kurashiki.okayama.jp

● FAX で報告する場合 → FAX：086-426-6050

※わからないことがありましたら、お問い合わせください

問い合わせ先：倉敷市環境政策課 自然保護係（TEL：086-426-3391）



▲ホームページ



▲e-mail

特定外来生物

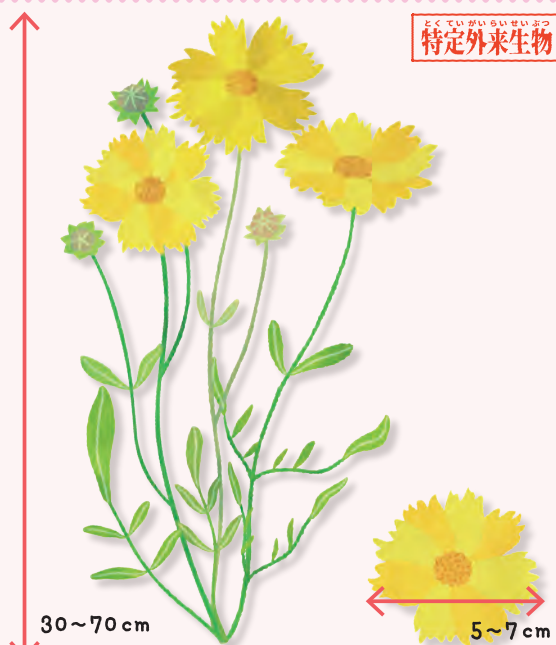
オオキンケイギク

●生態：

- ・特定外来生物で栽培や移動などが禁じられている。
- ・観賞用に輸入され緑化などに用いられたが、大きな群落を作り、在来の野草の生息を妨げる。
- ・北アメリカ原産

●特徴：

1. キク科の多年草
2. 高さ30～70 cm
3. 5～7月ごろに直径5～7 cmの黄色い花を咲かせる
4. 葉は茎の下の方に着き、両面に粗い毛がある



ナガエツルノゲイトウ

●生態：

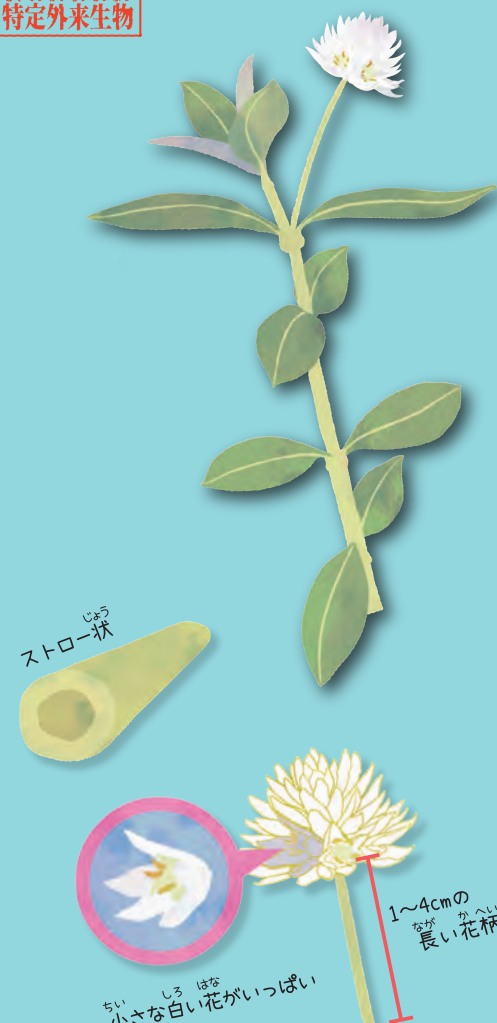
- ・特定外来生物で栽培や移動などが禁じられている。
- ・令和6年9月に倉敷市の小田川で岡山県内では初めて見つかった。
- ・河川、水路の他、水田、畦畔などに侵入して大群落になり、水路をふさいで、取水・排水の障害となる。
- ・茎がちぎれやすく、ちぎれた節や根から活発に再生するため、拡散しやすい。
- ・南アメリカ原産

●特徴：

1. ヒユ科の多年草
2. 長さ50 cm～1 m以上、水面や地面を横にはって伸びる
3. 4～10月に葉の脇からでた長さ1～4 cmの長い柄の先に、白くて丸い花序(※1)を付ける(よく似た植物のツルノゲイトウは花の柄が無い)
4. 葉はだ円形で、ふちに細かいギザギザがあり、節から対になって生える
5. 茎はストロー状になっている

(※1) 小さな花の集まり

特定外来生物



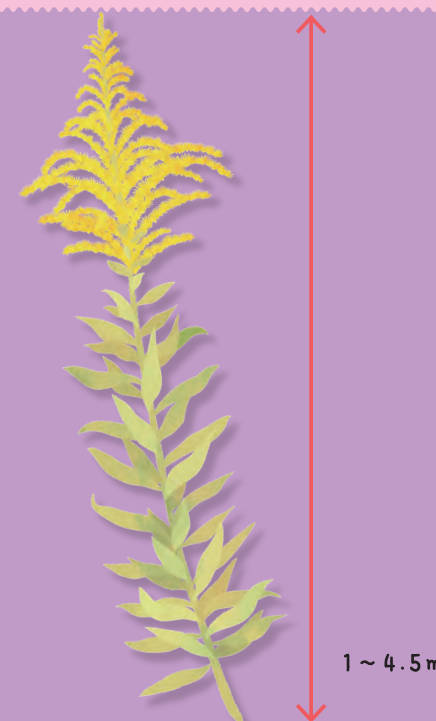
セイタカアワダチソウ

●生態：

- ・生態系被害防止外来種リストに選定された植物。
- ・土手や河川敷、空き地などの様々な場所で群生し、秋になると黄色い花を咲かせる。
- ・根と地下茎からはアレロパシー物質(他の植物の種子発芽や成長を妨げる物質)を出して、他の植物が育つのを妨げる。
- ・北アメリカ原産

●特徴：

1. キク科の多年草
2. 高さ1～4.5 m
3. 10～11月に、茎の先端に黄色い小さな花をたくさん咲かせる
4. 茎や葉の全体に短くて固い毛が多く、手触りがざらついている



ススキ

●生態：

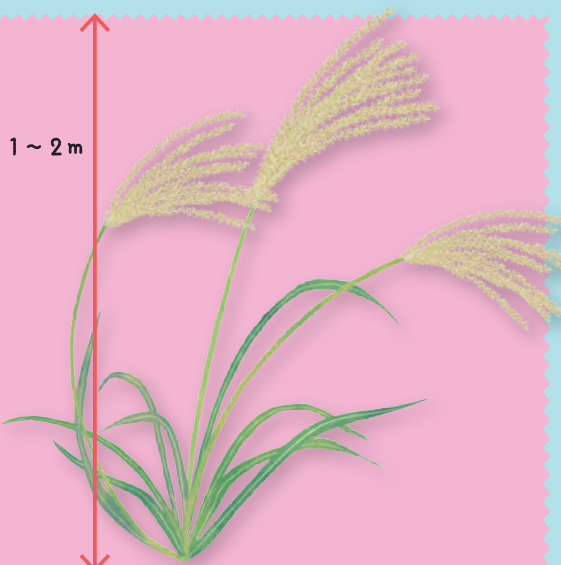
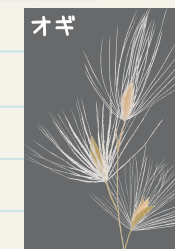
- ・日本の在来種で秋の七草のひとつ。
- ・茅(かや)とも呼ばれ、屋根の材料など様々な利用されてきた。
- ・セイタカアワダチソウに生息地を奪われてきたが、場所によっては再び勢力を取り戻しつつある。

●特徴：

1. イネ科の多年草
2. 高さ1～2 m
3. 8～10月にずっと立ちあがった茎の先に淡い茶色の穂をつける
4. 種が成熟すると白くフワフワになる
5. よく似た植物にオギがある

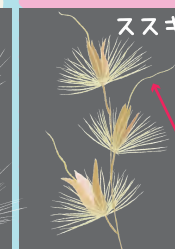
オギ

穂が銀色っぽい白でやわらかそう。
小さな穂は毛が全体的に長い



ススキ

穂が茶色っぽい。
小さな穂の先に長い針状の毛がある



注意事項

「事故やけが、熱中症に十分注意しましょう」
「危険な場所や立ち入りが規制されている場所での調査は止めましょう」
「水路などに転落することが無いよう、周囲に十分注意しましょう」